

今回のテーマは・・・【歩行器について】

歩行器とは・・・

歩行器とは、腕や脚の筋力が弱かったり、歩くときのバランスがよくなかったりする方に対して歩行を補助する道具です。

上手く使用すると、膝や腰の痛みの軽減、ふらつき防止などになり、日常生活の範囲を広げることができます。ただし、身体に合っていないと身体の状態が悪化したり、転倒事故に繋がることもあるので注意が必要です。



①のイメージ

歩行器の種類と対象者

①固定型歩行器 両手で持ち上げて、前方に進みます。その為、上半身にある程度の力が必要となります。安定性はありますが、移動速度は遅めです。室内向きで、段差がある場所にも適しています。

②2輪、4輪型歩行器 固定型歩行器の脚に車輪がついたものです。前方2輪、前方・後方4輪のタイプがあります。固定型よりも早く移動できます。ただし、その分バランス能力が必要となります。

③歩行車 肘など両腕で支えながら歩くもの、ハンドブレーキや腰かけ、荷物入れのあるものなど色々な種類があります。筋力の弱い方や、足、腰に痛みのある方に向いています。



③のイメージ

注意点！ ●買い物か通院か、室内か、坂道か、段差があるかなど使用目的や使用場所に依りて歩行器を選ぶことが必要です。 ●また、筋力や体格など身体状態によって適切な歩行器が異なるため、購入する場合は事前に福祉用具専門員や担当のケアマネジャーに相談するようにすることをおすすめします。 ●歩行器は、シルバーカーなどと異なり、公的介護保険の要介護認定を受けている方はレンタルが可能です。

介護困りごと相談所
みのりの丘では福祉や介護の困りごとの相談をお受けしています。(電話(0255-74-2525)での相談も可能ですのでお気軽にご相談下さい。)
月曜日～金曜日の平日、土曜日4月16日、5月14日、6月11日 8:30～17:30

編集後記
変わらずコロナ禍が続いています。また、今年は雪もたくさん降り驚きました。しかし、春はちゃんとやってきます。今号は、春らしい色合いの広報誌にしてみました。ご利用者の笑顔やたくましが伝わればうれしいです。今年度もよろしくお願い致します。

苦情申し立て
期間中、苦情の申し立てはありませんでした。今後もサービス向上に努めてまいります。ご遠慮なくご意見をお寄せください。

★掲載している写真は、ご本人又はご家族の了承をいただいております。ご厚意に感謝申し上げます。
★インターネットブログにて、みのりの丘の日々の様子を公開しております。ぜひ、ご覧ください。



笑顔で繋がっていた毎日が、コロナ禍により、「人とのつながり」「地域とのかかわりづくり」が大変難しくなりました。みのりの丘もご家族との面会すらままならず、地域や社会との関わりが大きく減少してしまいました。以前のように、「ご家族や地域の皆様が、みのりの丘へ気軽においでいただくことができ、生活されているご利用者にとつて、みのりの丘が最高の居場所と感じていただける日が一日も早く来ることを願い、感染対策を図りながら、交流方法の工夫や検討を行ってまいります。また、法人の基本理念にある『心温かな介護を通じ、生きる喜びと感動あふれる地域社会づくり』の実現を目指して、本年も取り組んでまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



園長 横田弘美

日頃より、新型コロナウイルスの感染防止対策をはじめとして、面会の制限等の対策にあたりご理解、ご協力に心から感謝申し上げます。
みのりの丘中郷は、平成二十四年四月に開所し、この四月で満十歳となります。開所当初より、住み慣れた地域での生活の継続を支援するために、「地域にたたくむ一軒家」として、地域の中で、地域の方々、気軽に行き来をすることで、常に人の流れが途切れない施設づくりに取り組んでまいりました。この間多くの方から、みのりの丘をご利用いただき、また支えていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

新年度の挨拶

社会福祉法人 新井頸南福祉会

◇地域密着型介護老人福祉施設 みのりの丘中郷◇ ◇グループホームあすなる◇
◇小規模多機能型居宅介護事業所 ほのほの中郷◇ ◇えんじゅの郷デイサービスセンター◇
〒949-2302 新潟県上越市中郷区藤沢998番地1
TEL 0255-74-2525 FAX 0255-74-2533



みのいの丘中郷



バレンタインデーにチョコレートをご家族から頂き、「こんなこと初めて」と喜ばれました。甘いお菓子は皆様大好きなようです。



各ユニットで少し早い春のお茶会をしました。桜の形をしたお菓子や桜餅をご用意して召し上がって頂きました。外を見ると雪景色が残っていますが「もう桜の時期かね」「もうすぐ春なんだね」と近づく春を感じて頂けたお茶会でした。



あすなろ

あすなろでは季節を感じて頂くために毎月様々な行事をしています。

三月はひな祭りです。入居者の皆様に着物を着て雰囲気を楽しんで頂きました。着飾るとより一段と表情豊かになりました。



さらに女性の方は化粧とマニキュアをして「どう？似合う？」
「爪塗るの初めてだわ！」
と…
オシャレを楽しみました。



ほのぼの中郷

今年の冬は大雪となり、「もう雪は要らないわ！」などの会話が毎日聞かれました。そんな嫌われ物の雪を何とか楽しみに変えることはできないか？ご利用者と相談した結果、レクリエーション活動で、雪だるまを作りました。

完成した個性的な雪だるま達を眺め、満足そうにご利用者の笑顔が印象的でした。



えんじゅの郷

えんじゅの郷では、毎月脳トレや手先の運動、季節を感じる為の作品作りを行っています。右の写真は、その場面です。皆様とても上手にスミレ作りやカレンダー作成を行われていました。



自立の促進を目指したケアの実践を学ぶべく、ノーリフトケア「持ち上げない・抱えあげない介護」についての研修を行いました。介護の現場において、機械ではなく「人の手が何よりも大切である」と長年考えられてきました。無理な抱え上げは、人間の持つ自然な動きをさえぎっていることが多く、介助される人の自立度を奪ってしまうことがあります。人力ではなく福祉用具や介護補助機器を活用した支援をすることで、視界が変わり自立への意識が高まる効果もあります。